

第31号

2020年(令和2年)3月28日
東北地区屋外広告美術業組合連合会
啓発事業委員会 発行

事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437
mail miyakoubi@yahoo.co.jp



とうほく

AQMORI IWATE MIYAGI AKITA YAMAGATA FUKUSHIMA



年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 大戸 邦男
(福島県屋外広告美術協同組合理事長)
(福島県) (株)クリエティブダイワ

令和二年の念頭にあたり、昨年の皆様のご協力に深く感謝申し上げますと共に、今年も皆様にとつて希望に満ちた良い年になりますよう衷心よりご祈念致します。

又、前年も触れましたが、『屋外広告物条例ガイドライン』の第一九条の二で「広告物の所有者等は、この条例の規定による許可又は許可の更新を行う場合には、前項の点検の結果を知事に提出しなければならない。」と規定されております。このポイントを是非ご認識頂ければ幸いです。その為のオーナーさん向けツールとして『オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック』を更に活用して頂ければ幸いです。

今年も年の初めに先ずは役員・会員の皆様へ私達の活動をアピールする事が出来ました。更なる、機関誌による広報活動に力をいれて行きたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

参考までに、今年放映されました『所さん！大変です』の中の貴重な数字を列挙しておきます。福岡市役所さんが市内二、七〇〇kmの沿道の看板を調べたところ総数二二、一五四枚の看板が有り六四・二%の七、七九八枚が無許可看板でした。調査期間に二年掛かり、調査費用が一億二千万円との事です。

さて、昨年までに行われました『屋外広告物安全点検技能講習』ですが、皆様のご協力もあつちまして東北六県の総受講者数が昨年末時点で五二五名となりました。組合関係者は三六九名で非組合員では一五六名です。約七〇%が組合員、三〇%が非組合員でした。無事成功裏に終える事が出来ました。今年も続けて開催予定であります。

今年も役員・会員の皆様の地区連に對してのご指導・ご鞭撻・ご協力を重ねてお願い致します。令和七年が東北開催年です。お互いに交流を深めまいし。

宮城、山形、福島の南三県に分けて開催いたします。皆様の移動等に係るご負担等をできるだけ軽減するためにも北と南に分けての開催であります。

今年も役員・会員の皆様の地区連に對してのご指導・ご鞭撻・ご協力を重ねてお願い致します。令和七年が東北開催年です。お互いに交流を深めまいし。

高い信頼性と圧倒的な表現力で、サインの現場に新しい価値を。



さらに高まった信頼性
高い性能と安定稼働、独自の2年間保証を標準提供。

2年間保証

圧倒的な高画質
新インクの展開で、広色域と鮮やかな発色。

現場を支える高生産性
連続印刷のタイムラグを軽減、印刷工数をリアルタイムで高効率化。

表現力でビジネスを上げる10色モデル。
64 Inch 10 colors SC-S80650 2,200,000円 標準価格(税別)

高い実用性能のコストパフォーマンスモデル。
64 Inch 4 colors SC-S40650 1,700,000円 標準価格(税別)

※PANTONEカラー再現であるとの保証が与えられているのは、SC-S80650のみです。

SureColor

エプソンのホームページ epson.jp/surecolor エプソン販売株式会社



MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂 3-5-14
TEL : 028-656-3611

東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森

<http://www.maruwashokai.co.jp>

第42回東北6県公共キャンペーン作品展



【概況】10月26日・27日の2日間、福島県いわき市スパリゾートハワイアンズ屋外会場で実施予定となっていた作品展は、前日からの豪雨により会場設地作業が禁じられ、作品展当日には周辺地域での河川決壊等の被害や審査員としてお招きしていた国土交通省担当課の広田企画専門官も交通機関が不通のため欠席が確実となったこともあり、東北6県理事長で審議した結果、急遽作品展の一般公開を中止し、審査会のみ実施することが決定した。幸い33点の出展作品は、福島広美の担当事業所(有)とんぼ工芸が床上浸水の被害に遭われた中、全てが安全な場所に保管されていた為、無事であることを確認できた。

審査会は急遽、11時より実施し、予定されている午後からの合同会議前に終了することを目標に、事業所内駐車場に作品を6名の理事長が中心となり全て並べ、審査員の福島県の版画工房版么洞代表の坂本氏による審査会を行った。

今回は、気象状況により一般公開はできなかったが、上位3作品は第60回東北大会(福島)会場に掲示しお披露目したい。

また、出展全作品はこの紙面上で掲載しているので、是非、多くの方にダウンロードして見ていただきたい。

今年度の入選8作品は、第1位国土交通大臣賞に秋田県の(有)ビッグアート、第2位日広連会長賞に山形県の(有)京野工芸、第3位の東北地区連会長賞に青森県の(株)エーアンドエム、第4位全国美術技能士会連合会会長賞・(新設)青森県(株)エーアイサイン)、第5位サインクリエイター協会賞に岩手県の(有)第一美工、優秀賞の3作品は順に秋田県の(有)うりた看板、福島県の(有)大洋社、岩手県の(株)栄建となった。



国土交通大臣賞
「NO! 虐待・イジメ」
秋田県(有)ビッグアート

【審査員講評】 NO!から始まる主題の呼びかけが力強い。画面全体に少女の悲しげな顔と何かを訴えているかのようなその表情から観る人々の注目度が強い。じっくり見ると少女のつぶらな瞳の中に、何かを訴えている黒い影が見える。虐待・イジメのない世の中に。



東北地区連会長賞
「環境」
青森県(株)エーアンドエム

【審査員講評】 太陽光発電に関する問いかけで画面構成について非常に苦労されている。立体的なもの、半立体的なもの、ソーラーパネルを使っの発光装置など最近の機能をフルに生かした構造である。



(社)日広連会長賞
「煽り運転 NO!」
山形県(有)京野工芸

【審査員講評】 バックミラーに映った強力な光が後続車との緊迫感を表し、毎日のように報道されている煽り運転による交通事故をストップさせたい。暗い画面にバックミラーの強力な黄色は、明示度が高く効果的です。ゆっくり譲り合い、ゆっくり走ろう、社会問題提起の佳作です。



サインクリエイター協会賞
『飲酒運転』
岩手県 (有)第一美工



全国美術技能士会連合会会長賞
『あおり運転撲滅』
青森県 (株)エーアイサイン



優秀賞
「人も動物も自然も同じ地球に
生きる一員です」岩手県 (株)栄建



優秀賞
「自然災害(防災)」
福島県 (有)大洋社



優秀賞
「あおり運転」
秋田県 (有)うりた看板

出品してくださいました皆さま(入賞者除く)
 青森県▶(株)エーアイサイン・(有)プロスクリーン・(株)アート・サイン
 岩手県▶(株)栄建・(有)オックス画房
 秋田県▶テルイカンバン(有)・(株)イサオサイン
 宮城県▶(株)アベ美装・(有)アカシヤ画房・(株)オオウチ工芸×2・(株)A B企画
 山形県▶(株)スカワ・ヒサオ看板・(有)山形商美社・(有)泉デザイン工房
 福島県▶(株)天狗堂・(有)高原看板×2・(株)クリエイティブダイワ
 (有)トライアート・ホシトモ看板・関本広告巧芸
 (有)タカ工芸社・(有)アダップ

※11ページに全作品を掲載しております。

【審査員総評】
 日本版画界評議員
 *版画工房 版么洞
 代表 坂本 勇
 *作品全体について
 広告を業とする専門家の作品なので、素晴らしい作品が出品され、どの作品も秀作ばかりであった。
 主題の呼びかけ(主張)、画面構成(形と色彩)文案、テーマ画面全体が一種のドラマであり、時代の要求にマッチした観る者に感動を与える作品が多かった。手描きばかりではなく、印刷技術なども駆使したすばらしい作品が多かった。

デル (DEL) ライト III
直管LED 電源別置型 (1灯・2灯用)

40W・32W・30W・20W TYPE
フルラインナップ

3年保証
電源(アルミケース)
防水性能:IP65相当
電源:Made in Japan

キョーワ
内照看板用直管LED

6500K(昼光色)
2700K(電球色)

電源 IP65相当

310°の
広い照射角度
350°(照射範囲)

器具電源 認証
LED素子 LGイノテック社製

LEDサイン球
彩光球

1年保証
※青、緑は受注生産品

明るい・きれい・使いやすい

LEDモジュール
各種モジュール (DC12V, AC100V)
レンズ式
フレキシブルタイプ
RGB調光、粒見せ
etc対応

レンズ型LED
(AC100Vタイプ、定電流タイプ)

**広告電気照明メーカー
協和電工株式会社**

〒547-0041 本社 大阪市平野区平野北1丁目7番12号
TEL (06) 6792-5000
FAX (06) 6792-5255

〒144-0052 東京支店 東京都大田区蒲田1丁目1番7号620号室
TEL (03) 5480-5003
FAX (03) 5480-5004

[HOME・PAGE] <https://www.kyowadenco.co.jp> [E-MAIL] kikaku@kyowadenco.co.jp

今の保険見直し必要では!

現在ご加入の保険で全て足りていますか? 補償は大丈夫ですか?
企業・従業員様は守られていますか?

取扱保険商品

- ・屋外広告物総合保険制度
- ・事業所生命共済
- ・無記名傷害保険
- ・医療・がん保険
- ・所得補償保険
- ・一般賠償・自動車保険・火災保険・傷害保険等

▶ **令和2年3月1日より屋外広告物
保険制度に「点検業務保険」が
自動付帯!**
目視点検の不備も担保致します!

保険は進化しています!今こそ見直し安心できる保険を見てください。
日広連の保険につきましては、下記の代理店までご一報下さい。

日広連保険取扱代理店
有限会社 アールエージェンシー

〒130-0014 東京都墨田区亀沢1-17-14
TEL 03-3626-2233
FAX 03-3626-2255

宮城



「親の心子知らず」

宮城県屋外広告美術協同組合 (地区連)専務理事 鈴木 章広 (株式会社築館看板)

この業界に足を踏み入れてから気づけばもうすぐ24年目でしょうか。私が代表に就任してから早いもので、ちょうど10年が経ちました。弊社は私が生まれると同時に昭和49年に父が独立、起業してから45年になり、あと数年で50周年を迎えます。50年といえは半世紀になるわけですから、それなりに長い歴史を刻みながら、本当に多くのお客様や従業員、そして地域に支えて頂いてここまで歩んで来れた事に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがたい事に父も健在ですし、70歳を迎えても尚、現場に打合せにと自分に扱き使われている父には申し訳ないですが、まだまだ頑張ってもらおうと思います！

24年前、普通は自社に入る前に同業他社などで数年間経験を積む人が多いうち、色々考えた挙句に大学を卒業してすぐに入社したわけですが、まだ若かった自分は学生時代に散々遊ばせてもらった(自分は学業...)にもかかわらず、まだ「社会人になりたくない」という若気の至りという甘ったれた考えから、今でこそ下火になってしまいましたが、当時流行最先端だったスノーボードにどっぷりハマっていたこともあり、何を勘違いしたのか「スノーボードで飯を食っていこう！」なんていう無謀な事にチャレンジしてしまっただけです。オフシーズン中は会社で働きお金を貯め、雪の季節になるとカナダや新潟や長野に籠るといって生活を約3年ほど

繰り返します。今思い出ししてみてもなんという自分勝手な生活でしょうか。夢を追いかけるといって聞かさないですが、どちらかというと働くことから逃げたい一心だったように思います。もし今、自分の俸がそんな生活を希望しようものなら全力で阻止しちゃうでしょうし、勘当ものですよ。普通。そんな親不孝者の自分を寛大な心で見守ってくれていた父は当時どんな思いだったのでしょうか。察するに余りありません。



どんな職業でも強い覚悟とプロ意識を持たなければその業界では勝ち抜いていけない事をここで知りました。そんな壁にぶち当たってしまった事と、大きな怪我を理由に3年間に渡る体たらくな生活に終止符を打つのでした。

そんな中途半端な終わり方にもめげず、いよいよ仕事に本気を出そうとするわけですが、他で修行したわけでもなく、ましてや業界の知識も経験もない状況でしたから、初めはとても苦労したのを覚えております。芸大出の私の業務は行成り設計やデザインを担当するわけですが、看板の構造も部材も訳わからぬままに本能的に設計してしまい、そこに変な芸術家魂が拍車をかけ、コストや工程を無視した難解で奇抜なデザインの製品を生み出してしまっただけです。あまりにも独創的すぎて製作担当者から「これどうやって作るの!？」って言われて答えられなかった事は今だにトラウマで通して、たくさんの方々にアドバイス貰

そんな父を尻目に約3年ほど続けた生活でしたが、ムービー作品に出演したり、競技大会に出場したりとそれなりに実績を積み、スキー場へ行けば声をかけられるくらいには成長していましたが、肝心の「スノーボードで飯を食う」という当初の目標については、当時ただでさえお金を貰えるプロスノーボーダーなんて極々限られた時代でしたから、こんな生半可なヤツには当然のごとく厳しいわけで、本気でプロを目指すに愕然とさせられたものです。やはり

知識も経験もない状況でしたから、初めはとても苦労したのを覚えております。芸大出の私の業務は行成り設計やデザインを担当するわけですが、看板の構造も部材も訳わからぬままに本能的に設計してしまい、そこに変な芸術家魂が拍車をかけ、コストや工程を無視した難解で奇抜なデザインの製品を生み出してしまっただけです。あまりにも独創的すぎて製作担当者から「これどうやって作るの!？」って言われて答えられなかった事は今だにトラウマで通して、たくさんの方々にアドバイス貰

いながら少しずつ看板のいろはを覚えていきまして、今のようになるとともに仕事ができるようになってまで10年ほどかかるとは思いませんでした。やはり偏った知識や経験だけでは仕事の役に立たない事をここで学びました。更にいえば芸術を学ぶよりも経済学や経営学を学んでおけば良かったと今更ながら後悔しております。私が入社してから24年間、業界においても様々な技術革新や法改正に対応しながら何とかここまで生かされてきました。我々の業界が不景気の時こそ強いと言われていたのも一昔前の話になり、少子高齢化のあおりをものろに受け、人材確保の難しさはもちろん後継者不足にも悩まされるようになり、法改正や情報の錯綜によりますます生きづらい世の中になりました。これから乗り越えるべき課題は山ほどありますが、俸が後を継いでくれる事に期待しすぎずも100年企業を目指して邁進していこうという壮大な目標だけは心のどこかに持つておこうと思います。

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

株式会社 東北藤光

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025
宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46
TEL:022-254-0611
FAX:022-254-0608

※事務局便りは10ページに掲載しています。

福島



復興道半ば

福島県屋外広告美術協同組合 理事・啓発事業委員長 星 臣
(ホシトモ看板)

平成も去年四月で三十一年の幕を閉じ、令和という新たな時代に突入致しました。

更には、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から丸九年が経ちます。未だ復興道半ばといったところでは、私の職場は、東京電力福島第一原子力発電所から三〇キロメートルに位置している南相馬市。震災当時は、避難を余儀なくされ、家族離れ離れ、仕事は激減し、このままでは廃業を。とも考えました。更に体調も崩してしまい、不幸のどん底におりました。ですが、回りの人々の助けもあり、徐々に回復に向かい、三年後にはなんとか元のような生活に戻ることができました。仕事も少しずつ増えていき、今に至っております。しかしながら、人手が足りず四苦八苦している状態が続いております。

そんな中、去年の十月に台風及び大雨の被害に見舞われました。床上・床下浸水、十日間の断水と。断水に關しましては、特に堪えました。普段何も考えずに水はあるものだと思いがどいていましたので、今回の断水で水がどれほど生活に重要なかと身にしみしました。今後このような災害などが起きることを常に考え、「備えあれば憂い無し」という言葉を胸に生きていかなければなりません。

さて商売の方ですが、私の地区は震災関連の受注、地元関連の受注が半々です。しかし、年々と受注率が下がっているのが現状であります。特に震災関連の受注に關しては、ここ二年で大幅に減少しております。

これは、徐々に震災前の状況に戻りつつあるのではないかと思います。休日にも海を見に行くのですが、震災前の風景とはまったく異なりですが、とても整備され新たな街になっており、これはこれでいいのかと思います。

ただ一つ震災関連の受注時に懸念されているのは、地元業者ではなく震災後被災地に来ている業者との受注に關してです。一概には言えませんが、看板を納品し、その後支払いの際連絡が取れなくなるところです。仮設の事務所での営業が多く、工期が終わり次第撤退することで連絡がつかず泣き寝入り。実際私も一社そういう目に合っていました。ですが、幸いにして私のお客様は大丈夫なので安心、感謝しております。

東京電力福島第一原子力発電所廃炉まで、三十〜四十年と言われている今日ですが、これから先どういう状況になるかまったく見えてきませんが、そんな中受注した仕事を一つ一つ気持ちよく

を込めてお客様に納品できるような心がけていきたいと思っております。

最後まで乱文をお読み頂きまして誠にありがとうございました。

事務局便り

明けましておめでとございます。昨年も東北の組合員様、事務局様には色々ご指導と助言そしてご協力をいただき、如何にか一年を終えることができました。

特に東北六県公共キャンペーン作品展審査会開催日には、前日の豪雨により予定の開催場所から変更となり、各県理事長様にはお疲れの中、お手伝いいただき本当にありがとうございました。また、合同会議もご協力いただき、どうにか担当県として行事を無事終えることができましたことにこの場をお借りし感謝申し上げます。そして、今年三月には総会を開催させていただきますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、多数ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

最後に今年もまた、各県の行事や事業を参考にしながら福島県でも展開し、役に立つ組合としてさらに目指すことを目標に努力をしていきたいとおもいますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本田 律夫

ネオン

シリコン製法によるLEDライン

S&D サイン&ディスプレイシリーズ カラー:8色 太さ:3種
STL ストリップチューブライトシリーズ

LED開発・サイン関連資材販売
株式会社 アイ・エス・パートナー
AI-KOUGEI Group
http://www.is-part.com TEL.03-5917-3680 FAX.03-5926-6423 E-mail:sales@is-part.com

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで車のことなら何でも!!

BOXバン~ワゴン車 軽~普通車 高所作業車 スカイマスター/スーパーデッキ

平トラック・クレーン車 アルミバン

エックスレンタリース北都株式会社

Rent a car URL <http://www.x-hokuto.com/>

本社	TEL 022-385-6891	福島店	TEL 024-545-7755
六丁の目店	TEL 022-288-3711	郡山店	TEL 024-935-3711
長町店	TEL 022-304-5722	会津店	TEL 0242-33-3711
山形店	TEL 023-624-0151	いわき店	TEL 0246-25-5333
米沢店	TEL 0238-23-4711	小名浜店	TEL 0246-54-5822
置賜店	TEL 0238-50-1516	原町店	TEL 0244-26-5693

山形



四十年続いている趣味

山形県屋外広告美術協同組合

監事

丹野 聖二
(チカノ工房)

上記の形の意味をご理解できるでしょうか。実は「止」の最初の形です。

次の形は

止まるの字を二つ重ねました。

見覚えがある字にみえませんか？。そうです「歩」です。歩くことは、止まるの連続なのだそうです。これを知った時昔の漢字はなんて面白いのだろうと思つたものでした。そして篆刻という芸術の存在を知りました。それから四十年未だに続いています。

数千年前の中国のある国の王様が部下数名に対して「森羅万象形にせよ」と命令したそうです。命を受けた部下たちは、目に見えるものを全てデザインし象形文字と言われる文字を作りました。ご存知のとおり象形文字だけでは意思の疎通はできません。部下たちは大変な苦勞をして文字の製作に当たつたんだろうなと思います。

ではなぜ王様は森羅万象を形にして文字を作らせたのでしょうか。王様は神に祈ることを日課としておりました。毎日毎日神に対して祈り祈願して



令和貳年 干支印
庚子 かのえ ね

も稀には叶うことがあつてもほとんどの願いは叶えてもらえません。このことは私たちが多くの経験で承知していることです。そこで王様は、神の真意を知るにはどうしたらいいのか、神と直接話をする方法はないのかと考えました。色々な方法を試した結果、亀の甲羅や動物の骨に青銅器の刃物で部下たちが苦勞して作った文字を彫り込んでそれを火にくべて急に冷やし入ったヒビを観察して神の真意と理解したのでした。

それは、王様の宮殿があつた場所を発掘してみると多数見つかったのです。最初は何なのか解らなかつたのですが、研究が進むにつれて次第に理解が進みました。現在では使われていない形のものも並んでいたのですから考古学の学者も大変な苦勞をして解読していったのでしよう。この亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字を甲骨文と言います。では、どんな文章が刻まれていたのでしょうか。「今日何処そこへ行くのだけだかこの旅は安全か」「姜は必用分得られるか」ちなみに姜とは王様の国の隣に住んでいた民族で王国にとっては神に捧げる生贄のための人材なのです。後に姜も文字を知り学ぶにつれて、激しく抵抗するようになります。文字は瞬く間に広がり、周にいたっては青銅

事務局便り

器に鑄込んで税収の為の度量衡法の為の升を作ります。この文字の形を金文と言います。その後、石鼓文、印文、篆文：と発展。デザインや形を変えて今私たちが使用している漢字になって行くのです。現在の中国は、私はあまり好きではありませんが古代の中国の人々の能力や発想には頭が下がります。篆刻作品は、全国展に数十回出展し、十数回の入選、一回の入賞を経験しました。

今年のタウンミーティングは寒河江市で行いました。

その後、懇親会を「さらや焼鳥」というところでやりました。

行く前からの情報で、焼鳥屋さんとはなつてはいるけど豚肉だという事は聞いていたのですが、どんな感じなんだろうと想像していました。

実際行って出てきたのを見たらずばり串にゴロツと大きい豚肉がさしてありました。食べごたえがあつてとてもおいしかったです。

しかし、豚肉でも焼鳥という店の名前はかなりユニークだなあと感じました。

今年もよろしくお願ひ致します。今年もよろしくお願ひ致します。

中川 順子

看板用の資材・加工なら「クラフト」にお任せください!

大型UVプリンタ 様々な素材へ柔軟に出力が可能です(ワークエリア 1600mm×制限なし) UVプリント 施工例



高性能カッティングスロッター 高精度で多彩な加工が特徴です(ワークエリア 1600mm×3000mm) カット・その他施工例



資材の在庫も数多く取り揃えております。お気軽にお問い合わせください。

〒990-2445 山形県山形市南栄町1丁目1-56
TEL:023-632-2435 E-mail:shop@craft-art.co.jp
FAX:023-632-2438 HP:http://www.craft-art.co.jp/

亜鉛でご縁をつなぎます。

亜鉛箱文字専門メーカー
株式会社パックス・トア

〒849-1321 佐賀県鹿島市古枝甲470-11

TEL.0120-19-5006 FAX.0120-8585-31

✉hakomoji@pax-toa.com URL http://www.pax-toa.com

パックスストア 検索



秋田



「夭折の画家」

秋田県屋外広告美術協同組合

理事啓発事業委員会委員長

照井 勉

(テルイカンバン有会社)

冬の季節は雪があらうと無かるうと、ウン十何年看板に係る仕事をしてきたけど暇な時期である。そこでこの道に入るきつかけになつた下手でも好きな図画を描いている。描いていると当然好きな画家の影響など少し受けることになる。佐伯裕三が好きだった。

時折どこかで、夭折の画家の展覧会やグラビアで絵の特集などが組まれることがある。友人にも本物かどうかは疑わしいが、そんな画家たちの絵だけをネットで買い求めている人もいる。「夭折」とは、モノの本によれば、30歳以前に亡くなった才能ある若い人たちの事をいうようだ。ゴッホは37歳でなくなっている。夭折とは言われないのかもしれないが、絵を制作した期間があまりに短いので、個人的には夭折の中に入れる。調べると当時は結核などで亡くなった若い絵描きが沢山いたらしい。没後発掘されたり生前から一目置かれていた画家もいたが・・・有名な所では青木繁、村山塊多、関根正二そして佐伯裕三。最近ビックリしたことがあった、佐伯裕三にそっくりな絵を描く画家がいたのだ、それは佐伯の没後ではなく佐伯に影響され、佐伯と肩を並べる



ようにパリの石畳にイーゼルを構えた画家がいたのだ。名は横手貞美という。絵を見せられたら私などには佐伯としか思えない、そのくらい似ている。佐伯に似ているとは言え横手も佐伯の域にある程度達していたのかもしれない、そうだとしたら彼もまた絵を描く幸福、筆を握る無我夢中の至福を得ることが出来たと思う。佐伯は雨の日は自前のキャンバスを部屋で手作りし、晴れたらイーゼルの担いで屋外へと出て行く。絵は一日一枚とか二日に一枚とかで完成させる、彼には時間がないのだ、結核

が日々進んでいく、その死への誘いに抗うように描き進む、驚くのは短時間での制作でも彼の絵のモチーフには何か月もかけて描いたような深いものがある、絵の神か何か潜んでいるようだ。心で描いている、命を削って描いている。

ゴッホもそうだった、死に急ぐように描いて描いて描きまくった。凡人には何でもない風景や椅子や花なども、ゴッホの目と心を通せば何でも物語めいて絵にしたし絵になった。ただ、今になって推測したい事がある、生前はよき理解者で経済的にも最後まで援助した画商の弟テオが、ゴッホの生前に一枚だけ絵を売る事が出来たらしいが、それも定かではない。生前ゴッホの目の前で数枚でも売れ、お金のないゴッホが多少裕福になった時、絵はどんなふうに変貌していったのか、しなかったのか、愚問だけど興味湧く。

いずれ夭折の画家たちはとつとつにこの世にはいないのだし、認められずに逝った画家たちも多かった事だろう。薄倅の短い人生ではあったが、絵に対する熱い情熱は彼らを幸せにした、そうであったに違いない。

秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

● 中村塗料販売株式会社

秋田市寺内蛭根 3-24-15 TEL 018-863-2005

● 株式会社丸和商会

秋田市東通 6-9-4 グランデール東通101号 TEL 018-874-8731

● (株) システムアート

秋田市外旭川字田中 43-3 TEL 018-863-7514

事務局便り

今年の冬は皆さまの地域はどんな感じでしょうか？
いまのところ秋田市は過ごしやすい冬になっております。私の個人的な意見ですが、秋と冬が嫌いです。雪が降って雪よせもありますが、気分的にテンションが下がります。自分だけであれば秋冬を感じさせない所へ引越したいです(笑)このまま雪も降らず、雪かきで腰を痛めることなく春を迎えられたらいいなと願っています。秋冬を楽しく過ごせればと思います、昔やっていましたスキーやスノーボードをやるのかなと思いましたが、夏は夏ですが、一番先に思うのは、「寒いイヤだ」と。夏は夏で暑い嫌だねと。わがままですね(笑)本当は四季があるから素敵なんですよね。今年は秋と冬の良いところを探してみようと思います。

小林 明子



「ご縁」

青森県屋外広告美術業協同組合

副理事長

石澤

敏行

(株式会社石沢工業)

根っからの野球好きで、幼少期より専ら屋外でしか過ごせず、顔や腕は焦げ臭いと感じるほど一年中日焼けしていた。高校生になる頃には身長185cm、体重85kg(現在は100kg超級)、握力は100kgに迫る。自転車で激チャリ走行中に急ブレーキをかけ、ブレーキのワイヤーが切れ、3度もトラックや自動車と衝突事故を繰り返して無傷。そんな破天荒を繰り返していた。いま思うと3度死んでましたね(苦笑)。

それでも、ご縁があつて高校3年生の夏の甲子園青森県大会で平成元年最初の選手宣誓のクジを引き当て貴重な経験をした。その後、仙台の東北工業大学に進学し様々な出来事があるが中略。しかし、親元を離れての大学生活を機に、これまで以上に親への感謝の気持ち芽生え、同時に『今まで自分は好き放題、好きな事をやらせてもらった。そろそろ軌道を修正し、しっかりしなければ!』という事を痛烈に感じた。思い起こせば、高校受験を控えた中3の秋、冬にかけての深夜2時〜3時に帰宅した親父に毎晩捕まり勉強が手につかないほど、話を聞く機会に襲われた。会社に対する思いやこれからの進路・理想像そして家族に対する思い。自分は看板業を営む家の長男である事は昔から認識していたが、今後何を学んでどういう方向に向かうべきかを得る貴重な機会となった。

実家を離れて12年、大学・就職(同業他社の東京と仙台の企業)を経て帰郷した。東京や仙台に初めて行った際、青森県とは全く異質の経済状況に驚き、文化や風習の違いに戸惑ったあの頃の全く逆の環境。どうすれば正解なのか、正直戸惑った。しかし自分は会社を継承するために帰郷した。そんな戸惑いを解消するきっかけとなったのが青広美青年部への加入だった。同業他社の集りであるにも関わらず仲間意識の高い組織。正直、救われました。この救いがきっかけとなり、その後青広美青年部長、サインフォーラム東北の会長、日広連青年部の理事を歴任。また地元では弘前青年会議所や母校の高校野球部OB会、我が子の保育園や小学校でそれぞれ会長を務める事となった。最大で1年間に会社以外の諸団体の役職を17務めた時期もあった。『長』を務めれば良い』という事ではなく、地域に根ざす大切さと、それらに関わるきっかけとなる『ご縁』が無ければ成しえない事が沢山ある事によく気付いた。

器に感激した。これも、ひとつの『ご縁』。

素敵な出会いに感謝し、これからの『ご縁』を大切に、東北地区連の活動に邁進する所存です。

事務局便り

「テレワーク」、最近この言葉を知りました。きっかけは新聞の連載記事でした。青森県七戸町で在宅勤務をしている筆者の記事が目にとまり、なんとなく読み始め、「へー、こんな働き方があったんだ。」と思った程度だったのですが、二回目を読んだ時、「私の働き方もそつなの?」と急に興味を覚えました。

情報通信技術を活用した時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態をいう、このことですが、青広美の事務局は、私の自宅。勤務時間は一応決められています。自分の予定を優先することもあり、替わりに、夜遅くまでパソコンに向かったりします。私にとつて、まさに制約を受けない働き方です。

この仕事に携わって、コンピュータに関して知り得たものはとても多いですが、わからないことは無限で、また、それを覚えるのが楽しい毎日です。知識吸収意欲旺盛な私です。今年もよろしく願いいたします。

野月幸子

オリジナルシート見本帳

オリジナルシートライブラリー vol.7

屋内外用のマーキングフィルムをはじめ、木目調塩ビシート、メタリック&ホログラムシート、屋内用化粧シート、ガラス装飾シートを収録!

ローコストが嬉しい
屋内用化粧シート

細かい模様もくっきり!
オンデマンド印刷対応床材

平滑面に貼ってはがせる!
屋内用ガラス装飾シート

ディスプレイ床材現物カタログ

カルテックス vol.2

カラーパリエーション豊富なパンチカーペットをはじめ、オンデマンド印刷対応品や人工芝などのディスプレイ用床材を多彩にラインアップ!

TOTAL DISPLAY 株式会社 **パック** 〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル 4F
TEL 03-5609-7600 FAX 0120-03-3711
http://www.kinugawa.com/pack info@pack-display.com

http://www.c-daiwa.co.jp

株式会社 クリエイティブダイワ

岩手



アナログからデジタル

岩手県屋外広告美術業協同組合 専務理事 藤沢 光一
(ラジサフデザイン)



私の在庫が増えて、まわりがフィルムだらけになりました。
ある日、会議で東京に行ってビツクリ、なんとタイトル看板がフルカラーのプリントでした、もう東京はプリントの時代でした。盛岡はまだ手書きとフィルムが主流でした、時代の格差を感じて帰ってきたのを覚えています。

ました。1枚仕上げれば、次々と

4年くらいしたら、独立できるま

でになり、昭和59年に独立しまし

た。車庫に床を張って作業場をつ

りそこで、仕事を始めました。ペン

キと筆、糸鋸を借金して設備して始

めました。お客様から直接仕事をし

たり、下請けをしたり、半々くらい

でした、そのうちに、筆屋さんが、

私が看板屋に入社したのが昭和55年ころでした、そこは盛岡でも指折りの手書き職人(社長)が居る所で、初めて見たときは、何て素晴らしい文字を書くもんだと思ひびっくりしました、小さい文字から大きい文字まで、スラスラ下書きも無いの

にあってという間に書き上げてました。そこに弟子入り同然に入社して、1年くらいは、社長の手元を

その後、当社でもプリンター(ENCAD)を導入していきました、ソフトがすごく高価でした、CD1枚170万円と言われ、値切って150万円で購入、その割には手書きとプリンターとどちらが早いか疑問に思いながら仕事をしてました、水性プリンターを3台目くらいに、油性プリンターの営業が来て、油性の時代が来たと言われ、導入しました。パソコン(XP)で水性プリンター、油性プリンター、カッティングマシン(450巾)と(1000巾)、4台を動かしてました、約10年くらい動いていました、今はWin7→Win10↓プリンター・カッティングのシステムで動いています、毎日パソコン作業です、アナログ時代と比べて、設備投資が多くなり、誰でも設備すれば看板屋が出来る時代です、競争が増えて利益が薄くなつて大変な時代です。これからの看板業界は、どうなるのだろう映像を使ったり益々デジタル化が進んで行き、アナログが貴重な高価な時代になってきます。

事務局便り

写真好きの友人から滝巡りの伝授があり、平成最後の年は県内各処の滝を歩いてみました。地図に頼らずひたすら直感頼りに景色を楽しみながら雲を追い向かう先に自然からのプレゼント、名もなく看板もない滝や静寂の溪流は独り占めしてもったいなく思うけれど、自分へのご褒美、マイナスイオンを一杯浴びてしばし現実逃避の時間が堪能できます。

車を停めてどれ程の距離なのか、未知の場所へガランガラン熊よけ鈴を鳴らし、蚊取り線香を焚きながら(音より匂いに敏感な熊は匂いがする処へは現れないらしい) 恐々進む先に、微かに聞こえてくる水の音がその場所へ誘いを早め、音が近づくと気持ち高鳴り勢いよく流れ落ちる滝が目の前に現れた瞬間は全てが浄化されていくような清らかで何とも言えない感動です。滝は天候や廻りの景色によってその都度に違う姿を見せてくれ、飽きることなく何度も訪れ楽しめるのが魅力ですが、何度めかの洋野町中野白滝は滝までの一帯が神社のようになっていて神秘的です。その日は台風後、落葉の絨毯と倒木を避けながら訪滝、前回の静けさと違い轟音けたたましく、あきらかに様子が違っていました。離れた場所からすでにマイナスイオンのお出迎え!(^^)!水量が増して豪快に流れる白滝を見ながらふと、昨今思わぬ自然災害で大変な思いをしている方々に思いを馳せ、落ちても落ちても涸れることない滝のように力強く生き抜いて欲しい、また自分自身も枯れいくお年頃ではありますが豪快な水の流れに負けない生き方をしたいと願いました。敬愛する渡辺和子さんの著書「置かれた場所で咲きなさい」、置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は根を下へ下へと降ろしましょう。上を見たらキリがない下を見たら自分より下はいないかもしれませんが、立派な草木を育てるためにしっかりした根をはらせる事はできます。置かれた場所に多くの花が咲きますように日々是好日!

小野寺 美智代

令和1年度各県タウンミーティング開催状況(実施順)

第6回宮城・広告景観タウンミーティング



実施日:9月10日(火)13:00~17:00
実施場所:仙台市青葉区国分町、二日町、春日町、木町通り地区 3エリア
会議会場:宮城県本町分庁舎(漁信基ビル)702号
実施内容:オリエンテーション→点検見まわり→意見交換会→発表→講評
参加者:東北地方整備局、宮城県担当課、仙台市担当課、宮城県立仙台高等技術専門学校広告看板科、組合関係者 計38名

(秋田県でのタウンミーティングは未開催)

第6回福島県広告景観タウンミーティング



実施日:9月14日(土)13:00~16:00
実施場所:白河市内
会議会場:白河市立図書館 りぶらん多目的ホール
実施内容:オリエンテーション→街歩き→グループミーティング→発表→講評まとめ
参加者:白河市担当課、組合員、賛助会員 計50名

第6回あおもり屋外広告タウンミーティング



実施日:10月4日(金)13:00~18:00
実施場所:八戸市中心街周辺
会議会場:八戸市ポータルミュージアム「はっち」2階シアター2
実施内容:オリエンテーション→まち歩き(6グループ)→ワークショップ→グループ発表→講評
参加者:青森県等行政担当者、学識者、学生、一般、組合員 計40名

第6回山形広告景観タウンミーティング



実施日:10月7日(月)13:30~17:00
実施場所:寒河江市内
会議会場:フローラ・SAGAE(寒河江市本町)
実施内容:タウンミーティングガイダンス・講演→街歩き→フリー討論→講評
参加者:行政担当課、地域関係者、組合関係者 33名

第6回岩手広告景観タウンミーティング



実施日:11月16日(土)13:30~17:00
実施場所:盛岡市青山地区
会議会場:盛岡ふれあい覆馬場プラザ
実施内容:オリエンテーション→まち歩き→ワークショップ→グループ発表→講評
参加者:行政担当課、地域関係者、組合関係者 45名

地区連・宮城県事務局便り

令和の時代が本格的に始動しました。が、この新しい時代が災害のない穏やかな時代であってほしいと願うばかりです。

さて、大相撲初場所では誰も予想だにできなかった幕尻の徳勝龍33歳が優勝しましたね。そして翌日に大関の豪栄道33歳が引退発表しました。この33歳同士の明暗はどこに... 徳勝龍は「優勝を意識し、かつ優勝インタビューのことまで

風呂場で練習してた」と本音を吐露。かたや豪栄道は「負け越したら引退する」と洩らしたそうです。

私はニュースを見ていて思いました「人って内側が優先される自分の考える方に引張られる。内側が現実をつくるんだなあ」と。健康状態もお金も人間関係も自分の考えたようになつていくという事ではないでしょうか?!

今年の子年は百八十年に一度とても財運に恵まれる年!だそうですよ。お金はいくらあっても邪魔にならないもの!!黄金の鼠を頭の片隅にポジティブ思考で今年も元気に頑張っていきたいと思います。 本年もどうぞよろしくお願いたします。

秋葉久美

ここ数年、年末にシクラメンを一鉢、お花屋さんから事務局に頂戴しています。この気温と日差しと水遣りが気に入っているのか、毎年きれいに花を咲かせた後の5月頃から9月半ば頃までは、東向きの庇の下で雨ざらしと高温の夏をひたすら耐えて休眠し、秋が深まる頃には小さな葉が球根から頭を出し始め、蕾も次々と顔を出し、可愛い花を咲かせて事務局の冬のシーズンを楽しませてくれます。

花が終わった後は、今年でおしまいかな?と思いつつながら過酷な環境の外に出し、植え替えもできない中秋を迎え、恐る恐る覗いた鉢の中に新芽を見つけた瞬間は心の中で小さくガッツポーズ!よくぞ生き抜いてくれました!と、ほっこり幸せな気分になります。

昨年末に事務局に来た新入りのピンクのシクラメンと合わせて、年を越した4鉢が今も健やかに咲いています。

清掃前に毎朝、水のあげすぎにだけは注意して、それぞれの花から元気をもらい事務局での一日が始まります。さあ、今日も頑張ろう!!

皆様、今年もよろしくお願いたします。

高橋ちよ子



2019度屋外広告士試験実技対策事前講習会

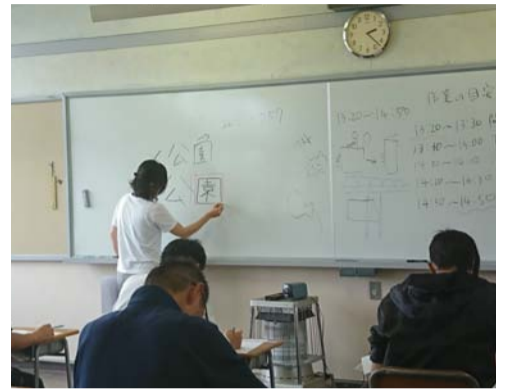
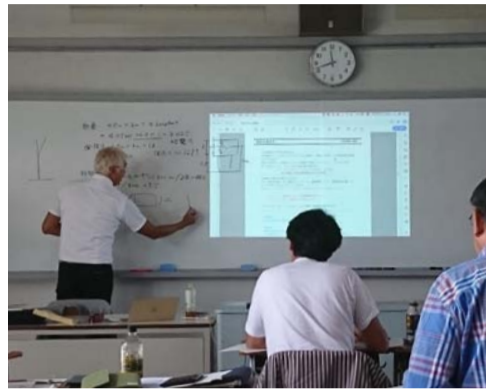
2回目となる屋外広告士実技試験(デザイン・設計)対策講習会を9月28日(土)に、昨年に引き続き、宮城県立仙台高等技術専門校の、2教室をお借りし、9:20から受付開始を開始し、10:00~16:00まで昼食休憩と適宜休憩を入れながら実技に特化した講習を行った。

講師は、広告看板科担当の石川菜々絵氏(技術主査)にはデザインクラス、設計クラスを木村光徳氏(東北地区連副会長・青森県理事長・(株)イーアンドエム取締役相談役)のお二人にお願いし、熱心に指導をしていただいた。

今回の講習会は、屋外広告士の合格率UPと特に実技での合格を確実にするための補助講習ということで、前回初めて実施した講習会の反省を踏まえ、指導時間を延長し2教室で並行して行う形を取ったことで、より密度の濃い充実した時間となり、講師にも疑問点を聞く等して試験対策に取り組む姿があった。また、前回同様に東北以外の受験者の参加もあり受講者の期待も大きいことが感じられた。

屋外広告士試験まで3週間という中で行ったが、その後も屋外広告士試験へ向け各人が試験勉強へ取り組んでいただいたものと思う。講習会での受講成果が、合格へ繋がっていくよう今後も関係各位のご指導とご協力の下、継続して実施していく予定である。

*デザイン受講者数 13名。 *設計受講者数7名。



屋外広告物安全点検技能講習会2019年

「屋外広告物点検講習会」は3年目を迎え、各県でも随時点検に関わる条例改正が施行されており、この講習会修了者が有資格者として位置付けられているところも多いことから、東北6県組合事業所での受講修了者数も増加している状況で、仙台市(6月29日)と盛岡市(7月27日)の2か所で行われた講習会では新たに128名が受講している。

東北地区連の運営で来年度も実施予定にしているが、所属組合員へは日広連から直接申し込み案内が届くので、受講締切日を厳守の上、直接日広連へ申込をしていただきたい。

仙台市「宮城県立仙台高等技術専門校」
広告看板科実習室



盛岡市
「アイーナいわて県民情報交流センター」



いざという時、迷わないの役に決めておこう！
防災意識
藤田 健一郎

ところで、既にご存知の方も居られると思いますが、昨年の東北六県公共キャンペーン作品展は展示会前日の豪雨、それに伴う災害による影響で展示は中止、当日福広美三室副理事長の事業所駐車場にて、急遽作品の梱包を解いた上で並べた後に、審査のみが行われました。この様に例年にはない、様々な悪条件が重なった状況での作品撮影でしたので、写真編集に例年以上に大変ご苦労され、お時間も掛かった事と推察されます。その辺りも考慮の上で作品の写真をご覧になっていただければ幸いです。

今年度から、東北地区啓発事業委員長を仰せつかりました、岩広美の藤田と申します。とは言え、実際の編集は青広美の木村理事長が引き続き担当しております。

編集後記
藤田 健一郎